

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 6 No 3

5 6 号

平成10年 3月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

お母さんクラブ第1回集会

院長

今回は『お母さんクラブ』について書いてみましょう。前から新聞等で案内していた、『お母さんクラブ』の第1回の集まりを2月日福沢市民センターで開催しました。現在のところ会員の申し込みは61名にも達し、今回は34名のお母さん方に参加いただきました。40名程度入れる部屋を準備したのですが、子どもたちを合わせると総勢70名近くになりました。

今回の会の目的は、これからどんな方向に『お母さんクラブ』を持っていくかということをお話しあうためでした。先ず小生から5周年のお礼を述べた後、お母さんクラブの開設の目的を説明しました。以前から新聞や院内掲示でもお知らせしていたように、医学知識を増やすこと、育児上の問題や悩みの相談、友人（お母さん、子ども）の確保など、普段の診療以外の部分を補うことを目的でこの会をつくったことを話しました。開く上での問題、例えば会費や運営方法なども提起し、皆さんの意見を伺うことにしました。その後は参加してくれたお母さん達の自己紹介から始まりました。子どもさんの紹介、いつから当院にかかりはじめたか、病院に対するお褒めのお言葉など、様々なお話が出てきました。元気な子どもさんは、マイクを取り上げ馴れた調子で挨拶もし、終始和やかなムードで続けました。また当院スタッフ1人1人の自己紹介も行われました。

この中でまとまったことを個条書きにしてみます。

1. 会費は、通信費などもあり止むを得ない。
2. 開催は、月1回程度。働いているお母さんも参加できるように、曜日を考えて欲しい。
3. 場所は、基本的に福沢市民センターとする。
3. 内容
医学的な話
栄養つけなどお母さん達の悩み
栄養士や看護婦の話

3月のお知らせ

1歳6カ月健診休診

3月10日(火)

午後2:00~4:30

休診となります



催し物（クリスマス会、バーベキューなど）
リサイクル（洋服、不用品など）
友達（お母さん、子ども）作り

4. 運営母体は、お母さん達とし病院は補助的に協力。

ということになりました。世話役を求めたところ次の方々が協力を申し出て、青葉区の岡本、武田さん、宮城野区に加藤さん、桜井さん、泉区の佐藤、泰楽、都築、富田さんに決まりました。詳しい内容については、世話人の方々が集まり、会費やスケジュールなどを検討することになりました。追って会員の皆さんには連絡があると思います。その時はよろしくお願いたします。また院内にお母さんクラブ専用の掲示板を用意する予定です。会からのお知らせや友達欲しいなどの掲示に役立てたいと思っています。お手伝いをしていただけのお母さんを募集しています。我と思わん方は、どうぞ受付までお願いします。

先月5周年を迎え、心新たに診療に当たろうと思えます。お母さんクラブもその一つと考えています。これからうまくいかどうか少し不安がありますが、診療以外でも役に立てればと思っています。運営のため、是非ご協力をお願いします。

ポリオ予防接種のお知らせ

4月にポリオがあります。該当する人は忘れずに受けましょう。予定は院内掲示と各人に配布しています。

ありがとうございました！

開業5周年に際しまして、泉区の遠藤さんからカードとお花、泉区の菅井さん、宮城野区の菅原さん、角沢さんから投書で、青葉区の木内さんから電子メールで、お祝いを頂きました。ありがとうございました。

前号でお知らせした5周年のテレホンカードの進呈は締め切りしました。発送をもって発表に代えさせていただきます。

読者の広場

今月もまたお手紙をいただいたので紹介したいと思います。宮城野区のIさんからは、便箋3枚にわたり、読者の広場に投書してみようと思いいペンをとったということで手紙をいただきました。『かわむら先生、いつもお世話になっています。毎回クリニックNEWS楽しみにしています。子どもが病気したときにしか、頂けないのが、すこし残念なような…。病気しないでくれているのはありがたい事なんですけど。(中略)いつも思うんですが、子供ってどうして夜中や休日に限って病気になりやすいんでしょうか?この間も真夜中に嘔吐して、次の日先生の所へ行って良くなったと思ったら、日曜日にまた嘔吐。たまたま先生の所が当番医だったので、安心して連れて行くことができました。真夜中や休日など、先生と連絡が取れたらと思うことがあります。本当に先生は子供のというより、私達親の安心剤だと思っています。それは先生はもちろん、中米さんをはじめとするスタッフの皆さん。(中略)ひきつけをおこしたお子さんが入ってきて、お母さんもすごく動揺されていた様でしたが、すぐ中米さんが来て大丈夫だから、お母さんと声をかけていました。休日当番ですごく混雑していて忙しいのに、普通にさりりと気配りのできる「かわむらこどもクリニック」に通院して、本当にラッキーと思える場面でした。(中略)私自身出産して、退院して1週間もしないうちに風邪をひかせてしまい、産婦人科から紹介され先生の所へ連れてきて、3年になろうとしています。あの時初めて先生にお会いしてお話しした時、“お母さんの不安を取り除くことも、私達の仕事でもあるのだから。”そう言って診察してくれたのをはっきりと覚えています。(以下略)』。追伸で、クリニックNEWSを待合室に置いてもらえるかということでしたが、創刊号からおいてあります。



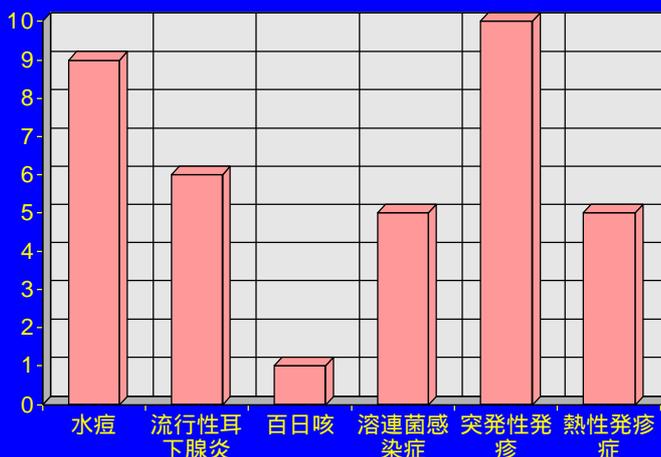
もう一人泉区のTさんからも手紙を頂きましたので、紹介します。『この度も子供と私と2人そろってお世話になり、本当にありがとうございました。(中略)元気になっていつも反省するのですが、今回も先生はじめ看護婦さんに、かなりわがままな事ばかり申し上げてしまいました。かわむらこどもクリニックで、先生のお顔を拝見すると、なんだかホッととても安心して、入院したいとかそういう我ままな事を話してしまうんです。(中略)先日も大変な混雑ぶりでしたが、中米さんが待合室で1人1人に声をかけて様子を聞いて下さったり、こどもが点滴を受けている間、ジュースを買ってきて下さったりと、スタッフの皆さまの暖かさや優しさには、同じ女性として頭が下がる思いです。私もこんなふうによさしい人になりたいと、また違った面でも勉強になっています。(以下略)』

また泉区のSさんからは便箋5枚にもわたる、お手紙を頂きました。初めての点滴経験、当院を選ぶまでの経過、ほかの病院での不安や不満の経験など、本当は皆さんに読んでも合いたいほどの内容です。しかし手紙が長いことと、他の小児科の実名入りでの非難などがあるため御紹介できないのは残念です。当院やスタッフを思う気持ちは十分に伝わってきます。『また新しい新人お2人の看護婦さんも、とても笑顔がやさしくホットいたしました。』と書いてもらって、こちらもホット安心しました。また『薬を出して病気を治せばよしとするだけの病院が多い中、“心”のある病院のあることにとても感謝いたします。(仙台市の財産とも思えるほど。)]とまで書いていただき、ありがとうございました。お褒めばかりで恐縮しています。



泉区のMさんから、『耳で測る体温計』についての問い合わせがありました。当院でも前から準備してあります。暴れるなどして普通の体温計で測るのが無理な場合、受付に一言声をかけてください。また青葉区のOさんから、『新聞のファイルまで診ている暇が無く、全部持っている方がうらやましいです。』との投書も頂きました。読んで下さるなら差上げます。受付まで、申し出て下さい。

2月の感染症の集計



ともかく先月はインフルエンザの大流行でした。グラフには、余りにも多かったため載せていません。カゼとの区別が難しいこともありましたが、診断できた患者さんだけでも250名以上に達しています。2月後半からはかなり下火になってきました。水痘はまだ多く見られましたが、おたふくは減少傾向です。

編集後記

今月号は、インフルエンザの流行と他の仕事で、発行が遅れて申し訳ありません。投書が多く読みづらい紙面になりました。でも投書待っています。

